

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：薬務水道費 目：薬務費

事業名 【新】薬剤師修学資金返還支援事業費補助金 (地域医療介護総合確保基金)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 薬務水道課 薬事献血係 電話番号：058-272-1111(内3433)

E-mail : c11224@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,500 千円 (前年度予算額： 0 千円)

＜財源内訳＞

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 入	寄附金	その他	県 債	一 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,500	0	0	0	0	0	7,500	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

県内の薬局・医療施設に従事する薬剤師数は増加傾向だが、薬剤師偏在指標(※)は全国値を下回っており、特に病院は薬局より低く、従事先の業態の偏在がみられる。

薬局薬剤師の偏在指標については、将来改善される予測だが、病院薬剤師の偏在指標については、低いままであるため、県内の病院薬剤師の不足・偏在の解消が必要。

※薬剤師偏在指標：都道府県や二次医療圏などの個々の地域における、薬剤師の必要業務時間(需要)に対する薬剤師の実際の労働時間(供給)の比率。

(2) 事業内容

就業した薬剤師に奨学金返還支援を実施する病院に対して、奨学金返還支援に要する経費を補助する。

【補助額】

病院が支援する額の1/2で、支援対象者(薬剤師)1人あたり25,000円／月を上限とする。(最大6年間) ※各支援対象者の奨学金の総返還残額の範囲内

(3) 県負担・補助率の考え方

地域の実情に即した医療体制を構築するため、薬剤師の従事先の業態の偏在を解消する必要があることから、事業費全額について、地域医療介護総合確保基金を充当する。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	7,500	薬剤師に奨学金返還支援をする病院の返還支援に要する経費の補助
合計	7,500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第8期岐阜県保健医療計画

- ・保健医療従事者の確保・養成（薬剤師）

(2) 国・他県の状況

他県においても同様の事業を実施

(3) 後年度の財政負担

毎年度、病院を対象とした調査を行い、次年度の支援対象人数（上限）を決定

(4) 事業主体及びその妥当性

地域の実情に即した医療体制を構築するため、薬剤師の従事先の業態の偏在を解消する必要があることから、県が事業主体となることが妥当

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

■ 新規要求事業
□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内病院に就業した薬剤師に対して、奨学金返還支援を行う病院への補助をとおして、県内での病院薬剤師不足・薬剤師の従事先の業態の偏在を解消し、地域の医療体制の強化を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R7)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
① 病院薬剤師偏在指標	0.69			0.74以上		

○指標を設定することができない場合の理由

終期（令和11年度）の偏在指標については、現在、国が算出中。

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	県内の薬剤師偏在指標は、全国値を下回っており、特に病院は薬局より低く、従事先の業態の偏在がみられる。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり
2：期待どおりの成果あり
1：期待どおりの成果が得られていない
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

県内の薬剤師は、全体的に不足しているが、特に病院薬剤師が不足しており、また、地域間でも薬剤師の偏在がある。このため、病院への就業にインセンティブを与えるような即効的な対策が求められる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

毎年度、病院を対象とした調査を行い、次年度の支援対象人数（上限）を決定

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	